



草津の魅力的な逸品を紹介！『草津ブランド』

問 商工観光労政課（4階） ☎561-2351、FAX561-2486

金属工芸品 編

和装を美しく彩る簪や帯留め、洋装に映えるブローチをはじめとした装飾品たち。ここ草津の工房で全て手作業で作られ、繊細な輝きを放ちます。日本の伝統技術を大切にしながらも伝統の枠を超え、新しい現代の「用の美」を体言したこれらの作品は、世代を超えて愛される、草津が誇る「草津ブランド」です。

銀峰工房の
金属工芸品はこちら



✂️キリトリ

水生植物公園みずの森

市民無料の日
クーポン券

6/20 日

9:00~17:00(入園は16:30まで)

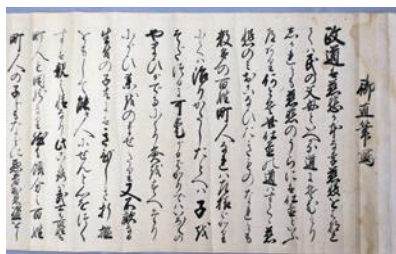


●対象は市内在住の人です。この券1枚で1家族入れます ●この券を切り取って持ってきてください

歴史ギャラリー

ほんだ やすきだ おんじき ひつうし
本多 康禎 御直筆写

同様の写しは膳所藩領内の各村に配布されたものと思われ、巻末には、月に一度、人々が集まる場で読み聞かせるようにと書かれています。藩による支配の具体的な様子がうかがえる、興味深い資料です。



▲御直筆写(部分)

藩主と領民の関係を親子の關係に例えて説いたものです。藩政の根本はあくまで慈悲であり、「慈悲のみ行いたいもの」だとした上で、かわいい子どもであっても時には厳しく正さねばならないように、重い罪を犯した場合には「仕置(刑罰)」をもって対応しなくては国が治まらない、としています。

家族や親類でも困るほど素行の悪い人物がいた場合には百姓なら庄屋や年寄、代官、郡奉行の順に、町人なら町役、同心、町奉行の順に訴えるよう定めており、村と町の支配体制の違いも現れています。

膳所藩11代藩主・本多康禎が文化11(1814)年に発令し、同13年に郡奉行(藩において村々の行政にあたった役職)から再び布告された法令。巻物の形で、裏打や緒(ひも)も全て紙製で簡素な作りですが、広げると長さは236cmにもなります。外題(巻いたとき外から見える部分に書き入れた題名)には「月々読聞せ一卷西横町」とあり、膳所藩領だった当時の草津村のうち、西横町が所有していたものと分かります。西横町は草津宿の外れに位置した町で、同時期の記録によると、旅籠(はたね)だけでも30ほどが並んでいたようです。

この「直筆の写し」は、藩主自らの言葉として、

No.163

問 草津宿街道交流館(草津三) ☎567-0030、FAX567-0031

Kusatsu Information

いつでもどこでも「広報くさつ」



市ホーム
ページ



ラジオえふえむ草津
(FM78.5MHz)
「声の広報」

スマートフォン用アプリ



マチイロ



SideBooks
(ちいき本棚)



市公式ソーシャルメディア！



イベントや市政情報、
窓口の混雑状況、
災害時の緊急情報などを配信！



くさつチャンネル

さまざまな動画を配信。
びわ湖放送(BBC)で放送されて
いる草津スケッチもこちらから！



市の花
アオバナ



市の木
キンモクセイ

4月30日現在(対前月比)

●人口136,818人(+564) ●世帯数61,210世帯(+453)
●男68,718人(+284) ●女68,100人(+280)